

2021 年度版

株式会社名古屋東急ホテル 環境活動レポート

1. はじめに

株式会社名古屋東急ホテルは、このたび、「サステナブル方針」を制定しました。「地球にやさしいホテル・まちにやさしいホテル・ひとにやさしいホテル」を目指し、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」の観点を深く認識した持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社ではかねてからグリーンコイン制度やグリーンカード制度を通して森林保全活動に取り組んでまいりましたが、今後は一層循環型社会の形成に貢献できるよう、ホテル事業と地球環境の調和に取り組み、名古屋東急ホテルをご利用いただくすべてのお客様に安全で衛生・クリーンな環境をご提供いたします。

2. 環境に関する経営理念・方針

地域に根ざした事業活動が不可欠なホテル業にとって、環境問題も無縁ではありません。従来型の大量購入・大量廃棄を前提とした事業活動は、顧客や社会の期待に応えられず、環境対策は喫緊の重要課題と認識し、当社の掲げるサステナブル方針〔地球にやさしいホテル、まちにやさしいホテル、ひとにやさしいホテル〕に基づいて、一層の環境管理を行うことで、地域及び地球環境の改善に貢献することで、従業員、顧客、取引先の信頼に繋げてまいります。

(ア) ホテルの事業活動が環境に与える影響を認識し、継続的な改善に努めます。

(イ) 環境に関する法令・規則を遵守します。

(ウ) 効率的な事業活動を推進し、省エネルギー、省資源を推進します。

(エ) 分別回収の積極的推進を通じて、廃棄物の削減と再資源化に勤めます。

(オ) 名古屋東急ホテルに携わるすべての従業員に周知徹底をします。

3. 会社概要

- ① 事業所名 : 株式会社名古屋東急ホテル
- ② 所在地 : 愛知県名古屋市中区栄四丁目 6 番 8 号
- ③ 事業内容 : ホテル業

- ・客室数 562室（地上16階/地下2階）
- ・宴会場 14室（最大1,500名収容）、チャペル1、神殿 1
- ・直営レストラン4店 テナント2店
- ・フィットネスクラブ・エステサロン・エグゼクティブサロン・
ショッピングアーケード

- ④ 従業員数 : 355人
- ⑤ 総支配人 : 斉藤 克弥
- ⑥ 環境責任者 : 岡埜 隆至（管理支配人）
- ⑦ 担当者 : 岩谷 和紀（総支配人室）
- ⑧ 資本金 : 10,000,000円
- ⑨ 敷地面積 : 8,859.0 m²
- ⑩ 延床面積 : 57,086.0 m²
- ⑪ 沿革

1987年（昭和62年）	3月18日	名古屋市中区に株式会社名古屋東急ホテルを 設立
1987年（昭和62年）	8月20日	名古屋東急ホテル開業
2000年（平成12年）	11月	ISO14001 認証取得
2002年（平成14年）	11月	名古屋市よりエコ事業所に認定
2009年（平成21年）	1月	ビルエネルギー管理システム(BEMS)を導入
2017年（平成27年）	8月	開業30周年を迎える

現在に至る。

4. 環境に配慮した取組の状況

(1) 目標及び実績

【目標】

温室効果ガス排出量：基準年（2010年度）排出量より 10 %削減

※.基準年 = 2010年度、CO2 排出量 7,9844t

【実績】

令和 2年度(2020年) : 5,198t 約 34%削減

平成 29年度(2017年) : 7,089t 約 17%削減

平成 27年度(2015年) : 7,246t 約 15%削減

(2) 具体的な取組内容と達成状況

① 電力消費削減策

- 1) 客室内照明球のLED化、客室内の器具交換を含む
- 2) 従業員スペース蛍光管のLED化など省エネ機器の導入

3) 人感センサーの採用、従業員トイレ等

4) デマンド抑制に注力し、ピーク時の電力負荷カット・平準化の推進

総括：客室・宴会場等の稼働率上昇に伴って増加傾向をたどっていたが、省エネ施策の推進により 2017 年以降は減少に転じている。2020 年についてはコロナ禍による稼働減も影響しているが、前年比で大幅な減少となった。

成果：中部電力ミライズ様など、取引先からの提案を受けたデマンド抑制策などの省エネルギー施策が奏功したことに加え、省エネ機器の導入が進んだ

※取組結果の成果 基準年度〔2010 年度比〕 ▲35.7% ◎

② 都市ガス消費削減策

1) ボイラー空気化の調整

2) 省エネ型吸収式冷凍機への更新等、水蓄熱システムの有効活用の促進

3) 客室窓の複層ガラス化による空調負荷の軽減

4) ライトダウンキャンペーン、電気製品の省エネ型機への順次更新

総括：外気温の変化によりガス消費量が大きく左右される傾向が強く、水蓄熱システムの有効活用による使用量の大幅削減を目論むも一進一退の状況が続く。

成果：中部電力ミライズ様など、取引先からの提案を受けたデマンド抑制策などの省エネルギー施策は効果を上げているが、稼働増と外気温の影響により 2019 年度は再び使用量は増加に転じた。

※取組結果の成果 基準年度〔2010 年度比〕 ▲32.6% ◎

③ 廃棄物排出削減と一般廃棄物リサイクル率 90%の実現

1) 食品残滓の減量及び堆肥化

2) 複合機導入による「2in1」印刷の推進等による紙消費量の削減

3) 会議資料のペーパーレス化

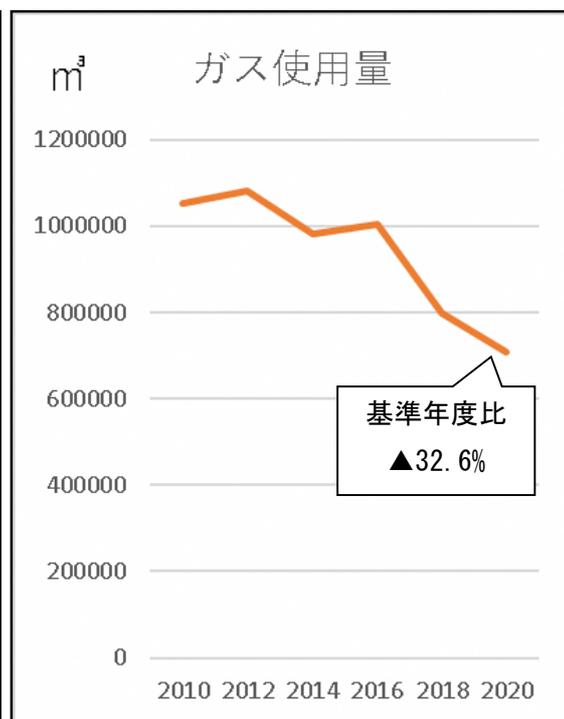
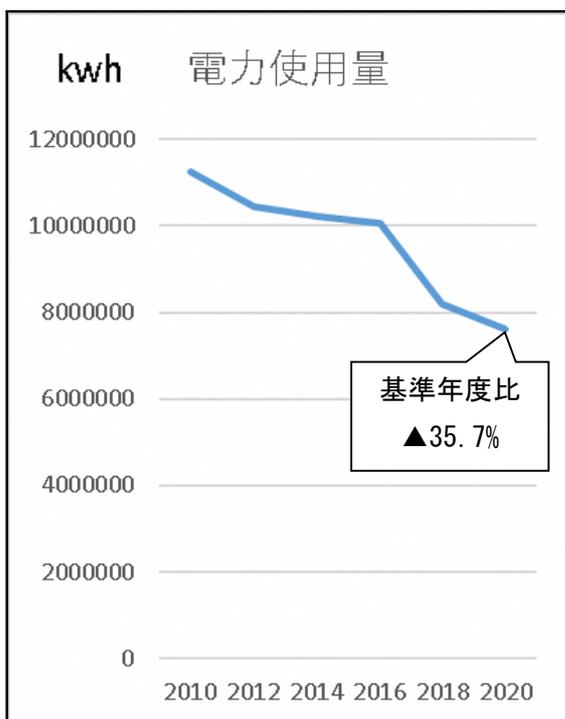
4) 廃食用油の再資源化

5) 雑紙の分別廃棄推進による可燃ごみ排出量の削減

総括：生ごみ・可燃ごみの廃棄量は 2019 年度までは利用客の増加により増加傾向にあったため、廃棄物の分別回収区分を見直し、紙資源の再生利用を目的として「雑紙」の分別回収に取り組んでいる

成果：2020 年度はコロナ禍による稼働低下の影響が大きく、一般廃棄物全般に廃棄量は減少したが、過年度より推進してきた分別回収の成果が表れ、一般廃棄物のリサイクル率は 90%に到達した。

※取組結果の成果 〔過年度廃棄量内訳不明〕 ◎



一般廃棄物リサイクル率

生ゴミ	77,583	○
可燃ゴミ	11,020	
不燃ゴミ	4,560	
缶	4,180	○
ビン	20,140	○
ペットボトル	8,740	○
スチロール	31,160	○
廃食用油	4,416	○
段ボール	25,000	○
古新聞	6,000	○
古雑誌	4,000	○
廃棄物合計	196,799	kg
リサイクル率	92.00%	

(2) 取組の改善策

- ① 電力消費削減策
 - ・ピーク時の電力負荷カット
 - ・事務室等 空調温度の見直し
 - ・長時間離席時のPC電源 OFF
- ② 都市ガス消費削減策
 - ・デマンド抑制策の徹底
- ③ 廃棄物排出削減
 - ・「雑がみ」分別廃棄の徹底
 - ・業務用アイテムの容器見直し

(4) 取組の改善策

- ・デマンド抑制に注力し、ピーク時の電力負荷カット・平準化の推進〔電気・ガス〕
- ・オフィス、中央監視室など、従来型蛍光管からLED照明に変更〔電気〕
- ・待機PCの電源OFFによる待機電力の消費削減〔電気〕
- ・省エネ型Vベルト交換〔客室〕
- ・従業員用自動販売機の商品サンプル照明の消灯〔電気〕

- ・ オフィス、従業員食堂、休憩室等の室温の適正化〔電気〕
- ・ 節水型便の客用トイレへの導入〔水資源〕
- ・ 料飲材料容器の見直し〔廃棄物〕
- ・ 雑がみ分別回収の習熟度向上〔廃棄物〕

5. お問い合わせ先

株式会社 名古屋東急ホテル

住所：愛知県名古屋市中区栄四丁目6番8号

電話：052-251-2411 Fax. 052-251-5745

担当：総支配人室 岩谷 和紀

Email：kazunori.iwatani@tokyuhotels.co.jp

URL：<https://www.tokyuhotels.co.jp/nagoya-h>



名古屋 東急ホテル

〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8
Tel:052-251-2411 Fax:052-251-2422
www.tokyuhotels.co.jp/nagoya-h